



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月28日

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社 上場取引所 東
コード番号 5481 URL <https://www.sanyo-steel.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 勝弘
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 柳本 豊 TEL 079-235-6004
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	99,863	△4.0	5,500	△37.4	6,070	△34.6	4,308	△37.4
2023年3月期第1四半期	104,052	△5.9	8,783	3.7	9,282	9.5	6,880	13.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 8,121百万円(△29.7%) 2023年3月期第1四半期 11,547百万円(26.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 79.07	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	126.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第1四半期	百万円 408,008	百万円 219,095	% 53.3
2023年3月期	401,218	216,024	53.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 217,557百万円 2023年3月期 214,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 100.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	35.00	—	65.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	185,000	△5.3	7,500	△43.1	8,000	△41.7	5,000	△49.3	91.77
通期	386,000	△2.0	20,000	△29.8	20,000	△30.7	14,000	△32.5	256.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	54,507,307株	2023年3月期	54,507,307株
2024年3月期1Q	21,883株	2023年3月期	21,557株
2024年3月期1Q	54,485,587株	2023年3月期1Q	54,487,740株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。)

【添付資料】

(目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報)	9
参考資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期(2023年4月1日～2023年6月30日)におけるわが国経済は、物価上昇が続く中、新型コロナウイルス感染症の5類移行や雇用・所得環境の改善を受けて個人消費が回復するなど、緩やかに回復しました。各種政策の効果もあり、今後も緩やかな回復が続くことが期待されるものの、世界的な金融引締め等による海外景気の下振れの影響が懸念されます。

特殊鋼業界におきましては、半導体不足の緩和により自動車生産は回復しているものの、その度合いが緩やかであることに加えて、建設・産業機械向けにおいて在庫調整局面が継続していることなどにより、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は、前年同期を下回りました。

このような中、当社グループの売上高は、エネルギーサーチャージ等の適用に伴う販売価格の上昇はありましたが、需要家の在庫調整の継続を受けた売上数量の減少などにより、前年同期比41億89百万円減の998億63百万円となりました。利益面では、エネルギーサーチャージ等の適用に伴う販売価格の上昇はありましたが、売上数量の減少や原燃料価格の上昇、諸資材等へのインフレ影響に加えて、スウェーデンの連結子会社Ovakoの売上数量の減少や2023年3月期に発生した一過性増益影響の縮小などにより、経常利益は、前年同期比32億11百万円減の60億70百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比25億72百万円減の43億8百万円となりました。

当第1四半期損益の概要(2023年4月1日～2023年6月30日)

(単位:千t、億円、円/株)

	当第1四半期	前年同期	差引増減	増減率(%)
売上数量	392	440	-48	-10.9
(内、当社単独)	213	234	-21	-9.2
(内、Ovako)	152	177	-25	-14.1
(内、SSMI)	27	28	-1	-4.4
売上高	999	1,041	-42	-4.0
(内、当社単独)	480	479	+1	+0.2
(内、Ovako)	443	495	-52	-10.5
(内、SSMI)	55	50	+4	+8.7
営業利益	55	88	-33	-37.4
(内、当社単独)	3	22	-18	-85.2
(内、Ovako)	54	71	-17	-23.7
(内、SSMI)	2	▲1	+3	—
(内、のれん償却費)	▲8	▲7	-1	—
経常利益	61	93	-32	-34.6
(内、当社単独)	20	34	-14	-40.0
(内、Ovako)	52	73	-21	-28.5
(内、SSMI)	2	▲1	+3	—
(内、のれん償却費)	▲8	▲7	-1	—
税後利益(注2)	43	69	-26	-37.4
1株当たり税後利益	79.07	126.28	-47.21	-37.4
のれん償却費を除く営業利益	63	95	-32	-33.9
のれん償却費を除く経常利益	68	100	-31	-31.5
のれん償却費を除く税後利益	51	76	-25	-33.0
のれん償却費を除く1株当たり税後利益	93.35	139.41	-46.06	-33.0

(注1) 金額は億円未満を四捨五入しております。

(注2) 親会社株主に帰属する四半期純利益。

セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

鋼材事業

当第1四半期の売上高は、エネルギーサーチャージ等の適用に伴う販売価格の上昇はありましたが、需要家の在庫調整の継続を受けた売上数量の減少などにより前年同期比44億80百万円減の960億99百万円となりました。営業利益は、エネルギーサーチャージ等の適用に伴う販売価格の上昇はありましたが、売上数量の減少や原燃料価格の上昇、諸資材等へのインフレ影響に加えて、Ovakoの売上数量の減少や一過性影響の縮小などにより、前年同期比30億85百万円減の54億89百万円となりました。

粉末事業

当第1四半期の売上高は、一部の電子材分野向けの需要減の影響はありましたが、自動車生産の回復、合金サーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇などにより、前年同期比1億28百万円増の13億98百万円となりました。営業利益は、売上数量の増加や合金サーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇はありましたが、販売構成の悪化などにより、前年同期比31百万円減の2億53百万円となりました。

素形材事業

当第1四半期の売上高は、鉄スクラップサーチャージ等の適用に伴う販売価格の上昇はありましたが、中国の連結子会社における売上数量の減少や販売構成の悪化などにより、前年同期比1億75百万円減の44億56百万円となりました。営業損益は、売上数量の減少や販売構成の悪化、原燃料価格の上昇などにより、2億57百万円の赤字(前年同期は94百万円の赤字)となりました。

その他

子会社を通じて情報処理サービスを行っており、当第1四半期の売上高は前年同期比26百万円増の2億51百万円、営業損益は4百万円の赤字(前年同期は2百万円の黒字)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産残高は、円安による海外連結子会社資産等の円換算額の増加などにより、前期末比67億90百万円増の4,080億8百万円となりました。負債残高は、コマーシャル・ペーパーの増加などにより、前期末比37億19百万円増の1,889億13百万円となりました。純資産残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や円安等に伴うその他の包括利益累計額の増加などにより、前期末比30億71百万円増の2,190億95百万円となりました。この結果、当第1四半期末におけるD/Eレシオ(純資産残高に対する有利子負債残高(現預金および関係会社預け金残高控除後)の割合)は0.32(前期末は0.31)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の足下までの需要環境は、自動車生産が緩やかに回復し、建設・産業機械向けにおいて調整局面が継続するなど、ほぼ想定どおりに推移しておりますが、Ovakoのエネルギーコストは想定よりも低位で推移しました。一方で、今後につきましては、原燃料価格等は概ね想定並で推移するものの、欧州の景気悪化や中国経済の回復の遅れにより、特殊鋼需要の回復が想定よりも遅くなることが見込まれるなど、当社グループの事業環境は厳しい状況が続くと想定されます。これらの状況をふまえ、2023年4月28日に公表しました2024年3月期上期および通期の業績予想を次のとおり修正いたしました。

2024年3月期業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位:千t、億円、円/株)

	今回予想		前回予想(4/28公表)		増減	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上数量	754	1,579	760	1,605	-6	-26
(内、当社単独)	430	870	426	870	+4	—
(内、Ovako)	267	585	274	608	-7	-23
(内、SSMI)	56	124	60	127	-4	-3
売上高	1,850	3,860	1,860	3,940	-10	-80
(内、当社単独)	950	1,910	940	1,940	+10	-30
(内、Ovako)	750	1,620	760	1,670	-10	-50
(内、SSMI)	112	257	120	260	-8	-3
営業利益	75	200	62	200	+13	—
(内、当社単独)	31	110	35	110	-4	—
(内、Ovako)	50	103	28	102	+22	+1
(内、SSMI)	5	12	6	13	-1	-1
(内、のれん償却費)	▲16	▲31	▲14	▲29	-2	-2
経常利益	80	200	63	200	+17	—
(内、当社単独)	70	150	72	150	-2	—
(内、Ovako)	47	100	27	100	+20	—
(内、SSMI)	3	7	3	7	—	—
(内、のれん償却費)	▲16	▲31	▲14	▲29	-2	-2
税後利益(注2)	50	140	40	140	+10	—
1株当たり税後利益	91.77	256.95	73.41	256.94	+18.36	+0.01
のれん償却費を除く営業利益	91	231	76	229	+15	+2
のれん償却費を除く経常利益	96	231	77	229	+19	+2
のれん償却費を除く税後利益	65	171	54	169	+11	+2
のれん償却費を除く1株当たり税後利益	119.30	313.84	99.11	310.17	+20.19	+3.67

(注1) 金額は億円未満を四捨五入しております。

(注2) 親会社株主に帰属する当期純利益。

なお、当社は、グローバルな特殊鋼マーケットでの企業価値の更なる向上を目指し、2021年度～2025年度を実行期間とする2025年中期経営計画を策定し実行してまいりましたが、同計画策定後の環境の変化や足下の業績をふまえ、2025年中期経営計画の見直しを行うことといたしました。また、同計画の見直しの中で、資本コストや株価を意識した経営の実施によるPBR1倍に向けた改善計画を策定するとともに、配当方針につきましても改定(注3)し、以下のとおりといたしました。詳細につきましては、本日公表の「2025年中期経営計画の見直しについて」をご参照ください。

(注3) この改定に伴う配当予想の修正はございません。

配当方針

当社は、経営基盤の強化に努めるとともに配当可能利益を拡大することにより、株主の皆様への利益還元を行うことを基本方針としております。配当につきましては、期間業績に応じた利益配分を基本としつつ、配当性向、1株当たり配当額水準および「企業価値向上」のための成長投資等への所要資金などを総合的に勘案して、株主の皆様のご期待に応えたいと考えております。具体的な指標としては、連結配当性向35%程度(のれん償却費を除く連結配当性向30%程度)を目安として、第2四半期末および期末の剰余金の配当を実施することといたします。

(注) 業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,652	25,515
受取手形、売掛金及び契約資産	66,372	67,142
電子記録債権	11,636	12,068
商品及び製品	33,681	34,123
仕掛品	58,791	55,015
原材料及び貯蔵品	35,756	35,241
未収還付法人税等	44	334
関係会社預け金	9,953	10,444
その他	4,259	4,455
貸倒引当金	△449	△428
流動資産合計	241,698	243,912
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	68,615	70,638
その他（純額）	46,567	47,461
有形固定資産合計	115,183	118,099
無形固定資産		
のれん	32,441	34,263
その他	3,676	3,792
無形固定資産合計	36,117	38,055
投資その他の資産	8,218	7,941
固定資産合計	159,519	164,096
資産合計	401,218	408,008
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,543	38,272
短期借入金	43,732	45,879
コマーシャル・ペーパー	30,999	36,998
未払法人税等	4,654	2,215
賞与引当金	2,323	1,160
環境対策引当金	3	3
その他	26,134	26,365
流動負債合計	147,391	150,896
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	11,570	11,483
役員退職慰労引当金	55	30
債務保証損失引当金	1	1
環境対策引当金	133	184
退職給付に係る負債	8,751	8,690
その他	7,290	7,624
固定負債合計	37,802	38,016
負債合計	185,194	188,913

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,800	53,800
資本剰余金	51,503	49,136
利益剰余金	101,027	102,883
自己株式	△32	△33
株主資本合計	206,298	205,787
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,893	2,082
繰延ヘッジ損益	△1,100	△1,849
為替換算調整勘定	5,625	9,609
退職給付に係る調整累計額	1,656	1,927
その他の包括利益累計額合計	8,075	11,770
非支配株主持分	1,650	1,537
純資産合計	216,024	219,095
負債純資産合計	401,218	408,008

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	104,052	99,863
売上原価	85,566	84,465
売上総利益	18,485	15,397
販売費及び一般管理費	9,702	9,897
営業利益	8,783	5,500
営業外収益		
受取利息	28	177
受取配当金	77	96
為替差益	463	268
受取賃貸料	66	81
電力需給調整協力金	—	433
その他	87	68
営業外収益合計	723	1,125
営業外費用		
支払利息	163	470
その他	61	84
営業外費用合計	224	555
経常利益	9,282	6,070
特別利益		
投資有価証券売却益	—	67
固定資産売却益	0	3
特別利益合計	0	70
特別損失		
固定資産除売却損	83	85
関係会社整理損	—	60
特別損失合計	83	145
税金等調整前四半期純利益	9,198	5,995
法人税、住民税及び事業税	1,911	1,201
法人税等調整額	462	420
法人税等合計	2,374	1,621
四半期純利益	6,823	4,374
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△56	66
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,880	4,308

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	6,823	4,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	189
繰延ヘッジ損益	820	△749
為替換算調整勘定	2,225	4,036
退職給付に係る調整額	1,625	271
持分法適用会社に対する持分相当額	44	—
その他の包括利益合計	4,723	3,747
四半期包括利益	11,547	8,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,501	8,002
非支配株主に係る四半期包括利益	46	119

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

従来、一部の連結子会社において、退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数を17年としておりましたが、従業員の平均残存勤務期間が短縮したため、当第1四半期連結会計期間より数理計算上の差異の費用処理年数を15年に変更しております。なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	98,129	1,269	4,631	104,030	22	104,052	—	104,052
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,450	—	0	2,450	202	2,652	△2,652	—
計	100,579	1,269	4,631	106,480	224	106,705	△2,652	104,052
セグメント利益 又は損失(△)	8,575	284	△94	8,764	2	8,767	15	8,783

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない情報処理サービス事業であります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	93,986	1,398	4,456	99,840	22	99,863	—	99,863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,113	—	—	2,113	229	2,342	△2,342	—
計	96,099	1,398	4,456	101,954	251	102,206	△2,342	99,863
セグメント利益 又は損失(△)	5,489	253	△257	5,484	△4	5,480	19	5,500

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない情報処理サービス事業であります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

参考資料

2024年3月期 第1四半期決算発表

1. 当第1四半期の業績と業績予想

(単位：千t、億円、%)

	当第1四半期 (実績)	前第1四半期 (実績)	増減	増減率	業績予想(※)	
					第2四半期 累計期間	通期
売上高	999	1,041	△42	△4.0	1,850	3,860
(内、当社単独)	480	479	1	0.2	950	1,910
(内、Ovako)	443	495	△52	△10.5	750	1,620
(内、SSMI)	55	50	4	8.7	112	257
営業利益	55	88	△33	△37.4	75	200
経常利益	61	93	△32	△34.6	80	200
(ROS)	(6.1)	(8.9)	(△2.8)		(4.3)	(5.2)
(内、当社単独)	20	34	△14	△40.0	70	150
(内、Ovako)	52	73	△21	△28.5	47	100
(内、SSMI)	2	△1	3	—	3	7
(内、のれん償却費)	△8	△7	△1	—	△16	△31
親会社株主に帰属する 当期純利益	43	69	△26	△37.4	50	140
売上数量	392	440	△48	△10.9	754	1,579
(内、当社単独)	213	234	△21	△9.2	430	870
(内、Ovako)	152	177	△25	△14.1	267	585
(内、SSMI)	27	28	△1	△4.4	56	124
設備投資	43	36	7	18.1		150
減価償却費	35	34	0	0.7		150

(※) 予想(7月以降)の主要前提：鉄スクラップ(姫路地区H2市況) 47.0千円/t、原油(ドバイ)90\$/BL、為替 140円/\$、150円/€

(参考) 四半期業績推移

(単位：千t、億円、%)

	2023年3月期					2024年3月期
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期	4-6月期
売上高	1,041	914	990	995	3,938	999
営業利益	88	44	73	81	285	55
経常利益	93	44	70	82	289	61
(ROS)	(8.9)	(4.9)	(7.0)	(8.2)	(7.3)	(6.1)
親会社株主に帰属する 当期純利益	69	30	49	60	207	43

2. 当第1四半期の経常利益増減要因(対前年同期)

(単位：億円)

増益要因		減益要因	
1. 販売価格・構成	41	1. 原燃料価格	29
2. 単独営業外損益	5	2. 諸資材・外注・物流費等	12
3. 連結子会社経常利益等	3	3. 販売数量	8
		4. 修繕費	4
		5. 固定費	7
		6. Ovako経常利益	21
計(A)	49	計(B)	81
		差引(A) - (B)	△32